

● 2023年 スペシャルオリンピックス日本・大阪 夏季合宿 ●

2023年 夏季合宿報告

スポーツプログラム委員長 柳井 祥晴

今年の夏季合宿は、コロナ禍からの再開で、以前の3回実施から縮小して2回としました。1期 8月26日・27日 アミティ舞洲合宿に、アスリート10名ボランティア10名 合計20名、2期9月9日・10日 マキノ合宿にアスリート23名ボランティア21名 合計44名 全体では、アスリート33名 ボランティア31名が参加をしました。

1期舞洲合宿では、ゲーム大会とミニ運動会を行いました。いつもよりも少人数での合宿でしたが、アスリートとコーチが一緒にになって楽しい活動となりました。

2期マキノ合宿では、1日目アスリートは、魚つかみとすいか割り、ゆっくりプール遊びと温泉浴を、楽しみました。次日は、ブドウ狩りとグランドゴルフに分かれて活動しました。今年は、マキノ高原も酷暑が続いており、早めに活動を切り上げて、河原やレストランでゆっくりしました。久しぶりのマキノ高原を堪能しました。

夏季合宿は、時期と会場と活動内容がアスリートの希望で選択できるので、それぞれが充分楽しめる内容になっていると思います。

夏季合宿の思い出



ファミリー ● 松浦 佳代子

久しぶりの合宿参加で、参加決定の連絡を頂いてから、ずっと指折り数えて楽しみに待っていました。

市立科学館でのプラネタリウムや電気エネルギー発電のグルグル回しも、初体验で印象に残ったようです。プール、ゲーム、ミニ運動会と盛りだくさんメニューは、いずれも楽しく参加できたようで、ずっと笑顔で話してくれました。

そして、何より皆さんと食べたご飯が美味しかったと、本人らしい感想もありました。

家族と離れて、ちょっと旅行気分のようでしたが、充実した2日間ありがとうございました。

ファミリー ● 高谷 當照

幼い頃、プラネタリウムで大泣きして出てきた事が何度かあったのですが、35年も経つと変わるんだなとしみじみ思いました。来年も楽しにしているようです。



ファミリー ● 梅田 たか子

久しぶりの合宿、1ヶ月以上前からマキノ高原へ行くのをとても楽しみにしていました。

「お肉食べた。カレー食べた。ソフトクリーム食べた。スイカ食べた。美味しかった。プール入った。グランドゴルフ頑張った。川怖くなかった」「お風呂(露天風呂)入った」と楽しかった事を嬉しそうに話してくれました。「花火なかった」とちょっと残念そうに言ってました。コーチ、ボランティアの皆さまのご尽力で、思い出にのこる楽しい合宿になつたと思います。

ファミリー ● 河原 保美

久し振りの舞洲合宿参加です。「岸田コーチ、高谷君、寝たよ」「プール泳いた」「玉入れした」と動作しながら、そして「オーエス！頑張った…」と、ミニ運動会？、綱引きらしい動作と拍手で、等いろいろ伝えてくれました。合宿で、皆さんと楽しく過ごした様子が伝わってきました。コーチ、ボランティアの皆様に感謝です。有難うございました。



2023年スペシャルオリンピックス夏季ワールドゲーム・ベルリン

「2023年スペシャルオリンピックス夏季世界大会(ワールドゲーム)ベルリン」成果をもって終了!

事務局長 井上 幹一

今年6月16日～25日の10日間にわたって開催された世界大会日本選手団に、大阪から1名のアスリート2名のコーチが参加しました。スペシャルオリンピックス日本選手団は、柔道のオリンピックメダリスト平岡拓晃スペシャルオリンピックス日本理事長を団長として、アスリート36名パートナー11名コーチ役員26名合計73名が9競技に参加しました。大阪から選出された3名は、世界中の参加者と交流を深めて帰国しました。3名のご報告を掲載します。

2023年夏季世界大会・ベルリン コーチ 柳井 祥晴

私は、6月に行われた夏季世界大会・ベルリンのボウリング競技のコーチとして参加しました。16日間でしたが、あっという間に終わつたと感じる世界大会でした。それは、最初のホストタウンプログラムで市長さんをはじめ町をあげてのトーチランや歓迎会をしていただきました。ボウリング競技には、ユニファイドダブルス3組(アスリート3名、パートナー3名)が出場し、どの組も好成績を収めることができました。大会中も競技だけでなくヘルシーアスリートプログラムや他競技の応援やいろいろなイベントにも参加することができ、毎日朝から晩まで(夜10時頃まで明るいので)充実した日々を過ごしました。

会場への移動は、公共交通機関を利用しました。ドイツ語で会話ができるないボウリングチームは、駅員さんや通行人に身振り手振りで聞きながらの移動でした。逆方向の電車に乗ってしまう大変なこともありましたが、現地の人とたくさん交流もできました。私はおいしい物を一杯食べ、体重が増えて帰国しました。

バドミントン アスリート 竹中 有花

ベルリンで開催されたスペシャルオリンピックスの世界大会に6月12日から26日まで行って来ました。

昨年の広島での全国大会が終わってからは、合宿や家での筋トレを頑張りました。ベルリンの前にメンヒエンプラートバッハという所でいろいろ見学しました。一番楽しかったのは、トーチランで街中を歩いた事です。外国人にインタビューされて緊張しました。その後、ベルリンに行き、開会式でみんなで行進しました。花火もきれいでました。次の日から毎日ホテルから電車で試合会場に行き、予選から戦いました。バドミントンのコートは12面もあり、試合の直前に発表されたコートに向かいます。日本から応援に来てもらって嬉しかったです。

シングルスの予選はうまく出来ましたが、ダブルスになってからはなかなか↗

↗か勝てず、決勝ではシングルスも敗けてしまいました。とても悔しかったです。でも閉会式でみんなで踊ったり楽しかったです。ベルリンは遠く、飛行機に乗っているのはとても長かったです。

もっと勝てるようになるとバドミントンの練習を頑張りたいと思います。

WGベルリンに参加して バトミントン コーチ 木庭 照美

初めてのWGで規模の大きさに感銘を受けました。日本では、まだあまり認知されていないSOの活動が世界でこんなに盛んに行われていること、沢山のアスリート達がイキイキと大会に参加されている姿を拝見させて頂いて心の中に熱いものを感じました。この活動に出会えて参加させて頂いていることに誇りを感じています。16日間長いようで短かった大会は、とても充実していて海外でしか感じられないような時間の流れに対応することやいかにアスリートと体調を意識しながら楽しく過ごすことができていたならいいなあ～と思い過ごさせて頂きました。最終日、また、チャンスがあれば参加できたらと思いながら帰国しました。

平岡団長のアスリート達との関わりにいつも笑顔にさせて頂き、日本選手団の団結力とチームワークで素敵な大会になったのではないかと思もいます。こんな素敵なSOの活動に参加させて頂き感謝申し上げます。



バトミントンチーム

2024年スペシャルオリンピックス日本冬季ナショナルゲーム

今回、各競技に分かれて分散での開催となりました。大阪選手団は、フロアホッケー、アルペンスキー、スノーボード、スノーシューイング、ショートトラックスピードスケートの5競技にエントリーしています。大会概要と大阪選手団は、以下のようです。応援よろしくお願いします。2024年1月21日(日)に、枚方市駅周辺にてトーチラン、壮行会、報告会を開催します。多くの皆様のご参加をお願いします。

【フロアホッケー】 実施期間 2023年11月18日(土)・19日(日)

会 場 長野市 ホワイトリング

【アルペンスキー・スノーボード・スノーシューイング】

実施期間 2024年2月11日(土)・12日(日)

会 場 北海道名寄市 名寄ビアシリスキー場

【ショートトラックスピードスケート】

実施期間 2024年2月24日(土)・25日(日)

会 場 長野市 ビッグハット

大阪選手団	アスリート							コーチ		
フロアホッケー	東 和央	川谷 明輝	北野 浩佑	朽見 直人	朽見 隼人	谷口 公彦	岸田 大輔	井上 幹一	西 淳	
	中本 紘嗣	東谷 賢佑	山崎 翔央	山本 尚	米原 幹雄	道富 彩	柳井 祥晴	福島 幸		
アルペンスキー	菅 幸太	豊田 瑛一	中村 亘	藤川 勝将	藤川 潤	森畠 曜凱	三宅 徹	井上 幹一	岸田 大輔	
	浅野なつみ	山本 彩加					谷澤 祥行	嶋佐 雅之	川口あづさ	
スノーボード	奥田 幸治	鶴添 翔大	日野 達貴				西 純矢			
スノーシューイング	川端 克幸	山崎 大樹	山下 隆司				長村 泰正	柳井 祥晴		
ショートトラックスピードスケート	後藤 大毅	須貝 康平	辰野 理沙				井上 幹一	木庭 輝美		

2023年活動報告

2023年は、一部再開できていない活動もありますが、ほぼ、コロナ前の状況にて開催できました。まだまだ、マスクがとれないアスリートもいますが、衛生管理に考慮しながら継続できています。アスリート、ボランティア、ファミリーが、共に活動できることを大切にしながらの報告です。

バスケットボール

イズミバスケットボール ファミリー 柴田 勝美

「いちにのさん」に投稿させてもらう様になりますや10年が経とうとしています。その間、新型コロナやインフルエンザの流行で練習が出来なくなったりスポーツフェスタが中止されました。

少しずつ練習が出来る様になり、スポーツフェスタも昨年から参加チームが少ないながらも開催され今年からマスクもつけなくても良くなりアスリート達はより一層イキイキと練習に取り組める様になり、アスリート同志向き合う事が多い試合形式の練習も出来る様になりました。

もうすぐ、スポーツフェスタ。今年は地元堺市での開催なので一層楽しみにしています。

北河内バスケットボール ファミリー 久本 朋子

北河内バスケットボールチームで、近畿ブロックバスケットボール競技会に参加しました。「メダルなし、期待の結果と違うけどがんばる勇気それがスペシャル！」個人技能競技に、2010年のリベンジで参加しました。今回も残念な結果でした。帰りにメダルのことを話すと「お母さん、最初の宣言 聞いてないの？頑張る勇気!それがスペシャル」と娘に教えられました。ボウリングの競技会では、しっかり頑張って“マキシマムエフォートルール”により失格！隣の表彰台がとても遠くに見えました。再度、リベンジ！娘は、前向きです。



競泳

ファミリー 山本 雅弘

いつも楽しく参加させて貰ってありがとうございます。ガラス越しからアスリートの笑顔コーチの笑顔を見るとホッします。競泳参加は数年振りで久しぶりに見るアスリート達の上達ぶりには驚きました。何事も我慢強く楽しくやれば出来るだなあとと思いました。これからもコーチとアスリートの良い関係性で産まれる物と思います。これからも楽しい指導のほど宣しくお願いします。

ボウリング

八尾アロー ファミリー 川端 京子

今年度は、1期1月から、2期5月から、3期9月から各7回計21回のプログラムを実施することができました。男子7名、女子2名 9名で楽しく活動しています。

コロナ禍前のプログラム風景に戻っています。アスリート達はストライクやスペアをだとするとファミリーとハイタッチで喜び合って盛り上がっています。これからも親子共々、元気で楽しく続けていけたらと思います。

WAVE34 ファミリー 藤川 久美

WAVE34会場は、14名のアスリートが参加しています。A、B、の2班で隔週参加のアスリートと、毎週参加のアスリートに分かれての練習となっています。

12月6日、105回記録会では、久しぶりに全員集まります。コロナも5類に移行となりましたが、まだ感染の不安もあり、マスク着用で参加しています。ハイタッチの代わりに、拍手やガッツポーズで思いを伝え、皆さん楽しめています。



アルゴボウル アスリート 細見 吉幸

ボウリングに参加しています。みんな元気で楽しく練習しています。その時々で点数は、いろいろですが、一人ひとり考えて練習に取り組んでいます。となりの人とのタイミングもとれるようになっています。大きな成長だとれしく思っています。これからも楽しく練習が続けていけたらと思います。

フロアホッケー

ファミリー 東 加奈子

中河内フロアホッケーは、11月18~19日長野でのナショナルゲームに向けて、ほぼ北河内との合同プログラムでの活動となりました。

2/26に行われた京都・和歌山のチームとの近畿ブロック交流会。タツタ電線様の広くきれいな体育館、暖房も感じられないほどの真冬の寒さの中、練習試合で強い京都チームに全く歯が立たなかったアスリート達。前回のNG北海道が中止となって以来、久しぶりに大会参加を意識してのプログラムが始まる中、アスリート達のNGへのスイッチは、この交流会あたりから入ったかもしれません。

暑かった8月の合宿を経て、ようやく秋も目前です。いよいよ本番が近づく中、体調を万全に保って、頑張ってきた日々の成果を長野で存分に発揮して欲しいと思います。

アスリートのみなさん、2016年新潟大会以来のNGを、力いっぱい楽しんでくださいね！

ゴルフ

ファミリー 山埜 真智子

5月から月2回ゴルフプログラムに参加し、娘は、3ヶ月が過ぎて、ほんの少しゴルフというスポーツがわかつたのかなと思います。ゴルフに行くのを毎回楽しみにしており、笑顔で楽しく参加できることが、一番うれしく感じています。このような場を提供いただけるスペシャルオリンピックスがあることに感謝しています。

陸上

北河内陸上 ファミリー 須貝 里美

今年の春、新型コロナが、5類移行となり、日常が戻りつつあります。また、プログラム参加の体調チェック表への記入、マスク着用も緩和され活動がやり易くなりました。コロナ禍を乗り越え、マスクを外してグランドを走っているアスリートを見ると、感慨深く思います。

今後とも、プログラムが継続出来る事を祈っています。



コカ・コーラボトラーズ 支援自動販売機 設置される!!

この度、新日本空調株式会社様社内に、支援自動販売機が、設置されました。また、これを機会に、社員の皆様が、ボランティアとして参加いただけすることになり、先般のスペシャルオリンピックス日本・冬季ナショナルゲームのフロアホッケーチーム壮行会にも激励にお越しいただきました。アスリートの競技する様子を目の当たりにしていただき、感動されていました。継続した支援活動を今後も続けていただけることになり嬉しく思っております。

紙面をお借りして、お礼とさせていただきます。

(事務局長 井上 幹一)

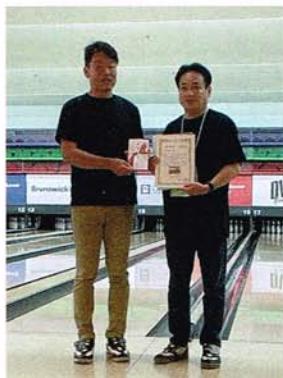
コカ・コーラボトラーズ 支援自動販売機とは

コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社様、自動販売機設置者様とスペシャルオリンピックス日本・大阪3者が協議をして、飲料1本に対しての寄付額を決定し、販売数に応じてSON・大阪へご寄付をいただく制度です。

現在、滋慶学園グループ専門学校3校、大阪狭山市にある合同会社OZ様、そして今回の新日本空調株式会社様の5台が設置されています。年間30,000円程度のご寄付をいただいているいます。設置を検討いただける方は、SON・大阪事務局までお問い合わせください。



◆◆◆◆◆ ご寄付お礼 ◆◆◆◆◆



今年も「和幸カントリー倶楽部」様よりご寄付を頂戴しました。10月20日に『第2回GPRインビテーション』が開催され、その名誉スタートとしてSON・大阪アスリート2名が参加しました。コンペ後の表彰式にて、参加者からのチャリティを一般社団法人GPR協会と和幸カントリー倶楽部様よりご寄付をいただくとともに、SOの活動をご参加の皆様にご紹介いただき、今後のご支援もお約束いただきました。ありがとうございました。

『マルホ株式会社』様および社員の皆様からは、今年も多大なご寄付を、スペシャルオリンピックス日本・近畿ブロックボウリング競技会会場において贈呈いただきました。当日は、社員の皆様が、ボランティアとして参加もいただきました。長年にわたるご支援をいただき感謝申し上げます。

また久しりに催されたチャリティゴルフコンペご参加の皆様からもご寄付を頂戴しました。ありがとうございます。



ご寄付・ご協賛いただいた皆様（順不同・敬称略） 2023年1月～10月

マルホ株式会社	SCSK株式会社	SCSK株式会社Earth One
阪急電鉄株式会社	ダイキン工業労働組合	新日本空調株式会社
サントリーホールディングス株式会社	株式会社ベイ・コミュニケーションズ	株式会社コミュニティスタイル
株式会社産業経済新聞社	宗教法人四天王寺	クローバーコスメイク
弁護士法人 淀屋橋・山上合同	アサヒディード株式会社	おそうじ本舗住道店
関西ユナイトプロテクション株式会社	滋慶学園グループ	平松総合会計事務所
イオンスタイル大日店	株式会社トレント	大阪シティ信用金庫
大阪新梅田シティライオンズクラブ	千房株式会社	学校法人 エール学園
土屋医院	医療法人一功会やまなか脳神経外科・内科・リハビリクリニック	和幸カントリー倶楽部
大阪府サッカー協会	合同会社OZ	一般社団法人GPR協会
赤松 祐吉	築島 肖吉	坂田 良雄
木本 和義	野 利雄	西口 均

認定特定非営利活動法人
スペシャルオリンピックス日本・大阪
●会員報告（2023年1月1日現在）
正会員/29名
一般会員/715名
賛助会員/法人会員: 24団体・個人会員: 611名

編集後記

酷暑の季節が、長く続いた後、秋がないままに立冬を迎えた今年です。9月からの後期活動も熱中症を考慮しながらの始まりとなりました。マスクを外す活動を見通しながら継続しています。遅くなりました。近畿ブロック大会や地区卓球競技会のご報告が、ようやくきました。心穏やかでない日々が、続きますが、世界中のスペシャルオリンピックアスリートの活動が継続できることを願っています。今回の題字は、「林 ひろみさん」です。

事務局長 井上 幹一